

『ヴォツェック』参考資料のご案内

新国立劇場でのご観劇前には作品に対する理解の一助として、
また、観劇後の感動をさらに深めるために、
5階情報センター閲覧室にてご覧いただける参考資料を紹介します。
ぜひお気軽にお立ち寄りください。

参考図書

<プログラム>

バルセロナ・リセウ歌劇場「Wozzeck (ヴォツェック)」(2005 西語)
ベルリン・コミッシェ・オーパー「Wozzeck (ヴォツェック)」(2004 独語)
ベルリン国立歌劇場日本公演「ヴォツェック」(1997.11 神奈川県民ホール)
ウィーン国立歌劇場日本公演「ヴォツェック」(1989.10)
二期会オペラ公演「ヴォツェック」(1985.10 東京文化会館)

<対訳>

ベルク **ヴォツェック** (名作オペラブックス 26)
アツティラ・チャンパイ、ディートマル・ホラント=編/音楽之友社 1988年発行
『ヴォツェック』の対訳から、『ヴォツェック』作曲の経緯、初演時とその後の評価、ディスコグラフィまで幅広く網羅した資料集。

<作品解説>

新ウィーン楽派(作曲家別名曲解説ライブラリー16) 音楽之友社=編/音楽之友社 1994年発行

Wozzeck BERG 出版:L'Avant-Scène OPÉRA 仏語 2003年発行
古今のオペラを1作ずつ取り上げて解説するシリーズ刊行物。

Alban Berg's Wozzeck A guide to the text and music of the opera Willi Reich/New York (英語)

ドラマとしてのオペラ—名作オペラを検証する

ジョーゼフ・カーマン=著/三浦淳史=監修/南條竹則、辻昌宏、鈴木圭子=訳/音楽之友社 1994年発行
9章で『ヴォツェック』を取り扱っている。

<作曲家関連>

アルバン・ベルク 極微なる移行の巨匠

テオドール・W・アドルノ=著/平野嘉彦=訳/法政大学出版局 1983年発行

<原作者(ビューヒナー)関連>

ゲオルク・ビューヒナー全集

ゲオルク・ビューヒナー=著/手塚富雄、千田是也、岩淵達治=訳/河出書房新社 2006年発行
23年の激烈な生涯の終わりに書かれた4篇の作品(『ダントンの死』『レンツ』『レオンスとレーナ』『ヴォイツェック』)によって伝説となったビューヒナー。作品のみならず、政治文書「ヘッセンの急使」書簡や、解剖学者としての論文まで収めた唯一の全集。

理念と肉体のはざままで G・ビューヒナーの文学 谷口廣治=著/人文書院 1997年発行

天折したドイツの天才作家の作品と書簡から、重層的な構造を備えたその精神の奥底に迫る。

ビューヒナー、及び戯曲『ヴォイツェック』関連資料はこの他に洋書が多数ございます。詳しくはお問合せください。

DVD

ヴォツェック(映画版) (70 ドイツ作品 ハンブルク歌劇場の上演に基づく映画化)

ヴォツェック:トニ・ブランケンハイム、マリー:セーナ・ユリナッチ、鼓手長:リチャード・カッシー、医者:ハンス・ゾーティン